

令和 6 年 度 事業 報 告 書

社会福祉法人ながのこころ

社会福祉法人ながのコロニー

令和6年度 事業報告書

○ 利用者数の状況

- ・ 入所利用者数は、前年度と比較して3人減少した。3人はいずれも他の施設への入所による退所であった。
- ・ 通所利用者数は、前年度と比較して5人減少した。新規に3人が利用を開始したが8人が退所した。
- ・ グループホームは、前年度と比較して1人減少した。
- ・ 就労継続支援A型の利用者は、印刷2人、縫製2人を採用し、印刷1人、縫製1人が退職した。

(単位:人)

区 分		定員	R6.3.31 現在	入所	退所	R7.3.31 現在
ワークサポート 篠ノ井	施設入所支援	40	19		1	18
	生活介護	40	43		3	40
	就労継続支援B型	20	19	2	2	19
ハートフル五明	施設入所支援	40	21	1	3	19
	生活介護	40	22	1	4	19
はあてい若槻	生活介護	16	10	1	2	9
	就労継続支援B型	25	29		2	27
地域生活支援 センター	共同生活援助 (R6年12月に定員変更)	6	6	1	2	5
長野福祉工場	就労継続支援A型	40	38	4	2	40
計		273	207	10	21	196

○ 職員の状況

- ・ 福祉施設部門では、R6.4.2～R7.4.1までの間に、退職者10人に対し8人採用した。
- ・ 福祉工場では、利用者以外の職員の退職者1人に対して採用はなかった。

(単位:人)

区 分	R6.4.1 採用	R6.4.1 現在	4.2～ 3.31 採用	人事 異動 (内部)	4.1～ 3.31 退職	R7.4.1 採用	R7.4.1 現在
総務部	1	6	1		△1	1	7
ワークサポート篠ノ井		16					16
ハートフル五明	1	19	2		△3		18
はあてい若槻		14			△1		13
あいくる		2					2

すまいる		7	2		△2		7
地域生活支援センター		5	2		△3		4
長野福祉工場	2	26			△1		25
長野福祉工場(利用者)	1	38	4		△2		40
計	5	133	11		△13	1	132

※兼務は、主たる事業所で人数に入れる。(理事長は、R6 はワークサポート篠ノ井、R7 は総務部に含む。)

※4.1 現在の人数には、R6 と R7 それぞれ 4.1 付け採用数が含まれている。

○ 経営概況

- ・ ワークサポート篠ノ井は、障害福祉サービス等事業収益では増収となったが、利用人数の減少、令和 6 年度報酬改定の影響や価格高騰対策支援金が無かったことなどにより、サービス活動収益計は前年度と比べ微増となった。当期活動増減差額は前年比 11 万円良化したが、142 万円の赤字となった。
- ・ ハートフル五明は、利用人数の減少、令和 6 年度報酬改定の影響や支援金が無かったことなどにより、サービス活動収益計は前年比減となった。当期活動増減差額は前年比 801 万円悪化し、799 万円の赤字となった。
- ・ はあてい若槻は、就労支援事業、障害福祉サービス等事業ともに、利用者の減少などにより、サービス活動収益計が前年比減となった。当期活動増減差額は前年比 104 万円悪化し、55 万円の赤字となった。
- ・ 各事業所の当期資金収支差額が赤字となったため、拠点区分間繰入金支出ができない大変厳しい状況となった。
- ・ 長野福祉工場の就労支援事業は、印刷事業が主に外注加工費の増加により減収減益で赤字となったが、縫製事業の受注が好調で、その赤字を上回る増収増益となったことにより、2,202 万円の黒字となった。また、障害福祉サービス等事業は、令和 6 年度報酬改定及び新たな加算取得により増収増益で黒字となり、工場全体の当期活動増減差額は前期比 2,806 万円良化し 3,451 万円の黒字を確保し、工賃変動積立金及び設備等整備積立金を積み立てることができた。
- ・ 法人全体として、最低賃金の上昇等による人件費の増加や諸物価高騰による諸経費の増加及び建物等の経年劣化等による修繕費の増加、更に令和 6 年度報酬改定の影響により、法人の収益がかなり圧迫されたが、長野福祉工場の大幅増収により、就労支援事業収益で前期比 2,331 万円の増収となり、それに伴う就労支援事業費用を低く抑えられたため、今年度も黒字を確保することができた。

I 法人本部（総務部）

1 社会情勢や利用者ニーズの変化への対応

- ・ 行政からの通知、各種出版物、報道、法人事業の統計などの情報を収集し、利用者の意向に対応したサービスの提供に努めた。
- ・ 収支動向を注視し、経営基盤の安定化に努めた。

2-1 新型コロナウイルス感染症等の対策

- ・ 新型コロナウイルス感染症への対策として、マスク着用、体温測定、手指消毒、3密回避を継続するとともに、嘱託医の協力を得て、篠ノ井施設において 65 才以上の入所利用者を中心に、ワクチン接種を行った。
- ・ 令和 5 年策定の「ながのコロニー感染対策指針」に基づき、全職員を対象に研修・訓練を実施した。

感染対策委員会を年 4 回開催するとともに、各事業所の感染対策指針及び新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画（感染症 BCP）について、逐次、確認し必要に応じ更新を行っている。

- ・ 長野福祉工場で、12 月中旬から年末にかけて、利用者 12 人、職員 10 人が感染するクラスターが発生したが、感染症 BCP に基づき対応し、終息を図った。
- ・ 利用者及び職員に対し実施していたインフルエンザ予防接種への補助制度を、新型コロナウイルス予防接種も対象となるよう拡充し、接種を勧奨するなど感染症対策の強化を図った。

2-2 災害等の対策

- ・ 5 月 22 日 篠ノ井施設、5 月 29 日 はあてい若槻及び長野福祉工場の春季防災訓練を実施した。
- ・ 10 月 9 日 篠ノ井施設、10 月 16 日 はあてい若槻、長野福祉工場及びうわのほ〜むの秋季防災訓練を地元防災役員等の参加を得て実施した。
- ・ 9 月 7 日 伝達用メーリングリストを整備し、全職員を対象に災害時連絡訓練を実施した。
- ・ 令和 5 年策定の「自然災害発生時における業務継続計画（BCP）」について、逐次、確認し必要に応じ更新を行っている。

3 地域住民との交流機会の拡大

- ・ 新型コロナウイルス感染症予防のため、篠ノ井施設のコロニー祭、若槻施設のコロニーまつりを中止した。代替行事として、篠ノ井施設でコロニーフェス、はあてい若槻ではあていフェスティバルを開催するとともに、各施設でお花見、納涼・七夕週間、ハロウィンウィークなどを実施した。また、外出がなかなかできない中で、テイクアウトによるハンバーガー、スイーツの提供等により、入所者や利用者の気分転換を図った。
- ・ 広報誌ながのコロニー第 23 号を発行した。
- ・ 法人のホームページを通じて、情報発信を行った。

4 健康で働きやすい職場環境

- ・ 職員を対象に定期健康診断とストレスチェックを実施するとともに、管理監督者向けメンタルヘルス研修会やハラスメント研修会を開催するなど、心身の健康づくりや活気ある職場づくりに取り組んだ。
- ・ 深夜業務従事職員に年 2 回の健康診断を実施した。
- ・ 新規採用職員を対象とした雇入時健康診断、深夜業務従事職員を対象とした特定業務従事者健診、パートタイム勤務職員を対象とした結核健診(胸部 X 線健診)を実施した。
- ・ 安全衛生委員会（福祉工場）及び衛生委員会（篠ノ井施設）を毎月開催し、職場巡視等を行うとともに、安全衛生年間計画に基づく活動に取り組んだ。
- ・ 車両の整備、アルコールチェックの義務化など、車両管理規定に基づき事故防止等に努めた。

5 職員の資質向上

- ・ 職員研修実施要領に基づき、研修会・講習会への参加と職場研修をオンライン研修を中心に実施した。
- ・ ゼンコロ加盟法人との連携や活動への協力を行った。

6 長期的かつ安定的な人材確保

- ・ 入所事業一元化を見据え、適材適所・適正人員の配置を行いつつ、欠員補充のため正規職員を採用した。
- ・ 令和 6 年 6 月、施設職員の処遇改善手当支給基準並びに福祉工場職員の処遇改善金支給基準を改正した。
- ・ 県の最低賃金の引き上げに伴い、嘱託職員及びパート職員の賃金改定を行った。合わせて、均衡を図るため施設職員の基本給基準表を改定した。
- ・ 長野福祉工場の基本給について福祉工場以外の職員と同様にキャリアパスに基づく職務基準表に連動した基本給基準表に改めるなど給与体系を見直した。
- ・ 令和 7 年 4 月 1 日施行の「育児・介護休業法（育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律）」の改正に合わせ、育児・介護休業等に関する規則など関連する規則の整備を行った。

7 理事会・評議員会

- ・ 理事会を 8 回、評議員会を 3 回開催した。詳細は、令和 6 年度会議・行事及び研修会等経過報告書のとおり。

8 監事監査

- ・ 現金監査、決算監査及び中間監査を実施した。詳細は、令和 6 年度会議・行事及び研修会等経過報告書のとおり。

9 設備投資（法人全体に及ぶもの）

（単位：円）

購入設備	数量	単価	金額	備考
篠ノ井施設 TimPro-NX（就業・給与計算ソフト）	一式	1,166,000	1,166,000	タイムプロ更新
篠ノ井施設食堂棟屋上冷却塔修理	一式	1,430,000	1,430,000	
篠ノ井施設コンプレッサー更新	一式	291,500	291,500	
篠ノ井施設劣化調査委託	一式	715,000	715,000	
篠ノ井施設冷温水循環ポンプ修繕	一式	1,027,730	1,027,730	
篠ノ井施設食堂棟地下排水管修理	一式	418,000	418,000	
篠ノ井施設食堂棟循環ポンプ修理	一式	416,900	416,900	
篠ノ井施設食堂棟西側ブラインド修理	一式	55,000	55,000	

10 その他

- 令和5年度社会福祉施設等施設整備費補助金を活用し、ハートフル五明の浴室に特殊浴槽を導入する浴室改修工事を行った。5月末竣工。6月から利用を開始している。
事業費：工事請負金額（設計・監理業務含む） 74,690,000 円（税込）
国庫補助金額：計 51,435,000 円〔(国)34,290,000 円（市）17,145,000 円〕
- 令和6年度報酬改定に伴い、意思決定支援の推進及び障害者支援施設における地域移行の推進等が求められたことから、全事業所において運営基準の見直しを行った。

II ワークサポート篠ノ井 障害者支援施設

区 分	定 員	計 画	実 績
施設入所支援	40 人	20 人	18.8 人月
生活介護	40 人	43 人	41.9 人月
就労継続支援 B 型	20 人	20 人	18.8 人月
短期入所	2 人	—	延べ 88 人日

新型コロナウイルス、インフルエンザの予防接種実施をはじめとする感染対策を行った。

感染症に関する職員研修を実施するとともに、感染状況に応じて入所利用者に外出・外泊の制限に協力いただいた。通所利用者にも注意喚起を行った。

1 施設入所支援

- ・ 入所事業一元化に向けた検討を行っているが、支援体制・施設面等の課題があり具体的な計画作成に至っていない。
- ・ これからの暮らし方の選択に資する情報提供に努め、選択結果に沿って支援を行った。

2 生活介護

(1) 日中活動

- ・ 長野県障がい者福祉センターの出張スポーツ教室が好評のため、継続して実施した。
- ・ 利用者の適性にあった生産活動を提供し、利用者の作業技術の継承にも取り組んだ。
- ・ 見学・実習希望者を積極的に受け入れた。

(2) 生活面

- ・ 支援の質を向上させるため各種マニュアルの見直しを行った。
- ・ 支援員・看護師・栄養士が連携し、健康状態や生活環境の維持・改善に向けた支援を継続した。
- ・ 口腔内の衛生保持の必要性について啓発を行った。

3 就労継続支援 B 型

(1) 生産活動

- ・ 利用者の欠席もあったが、作業量を確保して工賃の維持に努めた。
- ・ 新たな発注に対応するために作業方法を改善するなどの支援を行った。

(2) 生活面

- ・ 新型コロナウイルス等の感染対策を行いながら、利用者一人一人の適性に応じて安全に作業ができるように支援した。

4 短期入所

- ・ 入所施設への新型コロナウイルス感染症等の影響を避けるため、感染状況に応じた事業運営を行った。
- ・ 家族の介護負担軽減などの目的を確認し、利用者の状況に応じた支援を行った。

5 保健

(1) 疾患の早期発見及び現病の悪化防止

- ・ 嘱託医の月 1 回の診察と年 1 回の結核検診、2 年に 1 回の心電図検査を行った。
- ・ 必要に応じて血液検査等各種検査を行った。

(2) 状況にあった支援

- ・ 高齢化や障害の重度化に伴う健康状態の変化を把握し、必要な支援を行った。
- ・ スキンケアが習慣化し、乾燥性皮膚炎等皮膚トラブルが減少した。

- ・ 支援員・栄養士・看護師で情報を共有できた。
- (3) 口腔ケア
- ・ 歯科衛生士と連携をとり、情報を共有できた。
 - ・ 利用者個々の口腔内ケアの現状を把握し、担当支援員・看護師で情報共有を行った。
 - ・ 口腔内の健康維持の必要性を理解してもらうことで定期的歯科検診が定着した。
- (4) 感染症対策
- ・ 健康チェックを毎日行った。
 - ・ 職員が感染症対策の知識を習得し、研修等で対応の確認を行った。
 - ・ 新型コロナウイルス感染症やその他の感染症の知識を習得・情報収集し、マニュアルなどの見直しを行い発生時の対処に備えた。
 - ・ マスクの常時着用を奨励し、手洗い・うがいの徹底と、アルコール消毒を有効活用した。
 - ・ ワクチンの有効性を理解してもらい、インフルエンザのワクチン接種を実施した。また、新型コロナウイルスワクチンについては、対象者を中心に接種を実施した。
- (5) 医療ケア
- ・ ケアの目的と必要性及び外部専門家の助言等を支援員と共有し、安全確実に実施できた。

6 給食

- (1) 楽しく温かい食事
- ・ 嗜好や季節感を取り入れた食事を提供した。
- (2) 身体状況による適切な栄養ケア
- ・ 支援員・看護師・栄養士が情報を共有し、療養食の提供又は中止を嘱託医に提案するなど、生活全般の中で個別に食を通じた支援を実施した。
 - ・ 療養食の必要性と内容について随時説明して提供した。
 - ・ 必要に応じて咀嚼や嚥下機能等に配慮した食事を提供した。
- (3) 満足度の高い食事
- ・ 嗜好調査を兼ねた個別面談を随時実施した。
 - ・ 選択食の日を設け、事前にメニューを掲示するなど、食事に興味が湧くような献立表、掲示板作りを工夫し、栄養情報を発信した。
- (4) 感染症対策
- ・ 衛生管理の徹底を委託事業者に指示し、食中毒や感染症を防止した。
- (5) 非常災害時対策
- ・ 期限が到来する備蓄水の入替を行った。また、非常食の取扱い等について職員間で情報共有を行った。
- (6) 委託事業者との連携
- ・ 定期的なミーティングの機会を設け、食品衛生、個別対応などの確認を行った。
 - ・ 令和7年4月からのクックチル方式への調理方法変更について入所利用者に説明を行った。

7 レクリエーション・行事

- ・ 新型コロナウイルス感染症等の感染状況を踏まえながら行事を実施した。
- ・ 納涼七夕週間
- ・ コロニーフェスティバル（リズムオーケストラ演奏）
- ・ 出張スポーツ教室
- ・ 初詣・お正月レクリエーション
- ・ 成人式
- ・ 季節のレクリエーション（ひなまつり等）

8 設備投資

（単位：円）

購入設備	数 量	単 価	金 額	備 考
送迎車両（キャラバン）	一台	5,928,000	5,928,000	8年リース （月額61,750円）
油圧式裁断機	1台	4,510,000	4,510,000	
作業棟2階レール・リーラー ーコンセント工事	一式	495,000	495,000	
タイムプロNX（給与計算ソフト）	一式	194,750	194,750	工場除く施設共通（ワークサポート負担分）
コンプレッサー購入	1台	145,750	145,750	ハートフル共通（ワークサポート負担分）
厨房冷蔵庫	1台	145,200	145,200	
防災用品	一式	86,258	86,258	段ボールベッド、簡易トイレ、ブルーシート

9 利用者実績等

【利用者数】

区 分		当期実績	前期実績	比較増減	前期比
施設入所 支援	延べ利用者数	6,769人	6,958人	△189人	97.3%
	開所日数	365日	366日	△1日	99.7%
	平均利用者数	18.5人日	19.0人日	△0.5人日	97.4%
	平均利用率	46.3%	47.5%	△1.2ポイント	—
生活介護	延べ利用者数	9,068人	9,345人	△277人	97.0%
	開所日数	239日	238日	1日	100.4%
	平均利用者数	37.9人日	39.3人日	△1.4人日	96.4%
	平均利用率	94.8%	98.3%	3.5ポイント	—
就労継続 支援B型	延べ利用者数	3,581人	3,754人	△173人	95.4%
	開所日数	239日	238日	1日	100.4%
	平均利用者数	15.0人日	15.8人日	△0.8人日	94.9%
	平均利用率	75.0%	78.9%	3.9ポイント	—

短期入所	延べ利用者数	88 人	170 人	△82 人	51.8%
	開所日数	365 日	366 日	△1 日	99.7%
	平均利用者数	0.2 人日	0.5 人日	0.3 人日	40.0%
	平均利用率	10.0%	25.0%	15.0%	—

【売上高】

(単位：円)

区 分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
生活介護	4,722,040	5,600,000	84.3%
		4,899,893	96.4%
就労継続支援 B 型	7,019,954	7,000,000	100.3%
		7,056,488	99.5%

【工賃】

(単位：円)

区 分		当期実績	前期実績	増減額	前期比
生活介護	総額	4,206,941	4,109,092	97,842	102.4%
	平均月額	9,126	9,448	△322	96.6%
就 労 継 続 支援 B 型	総額	5,385,771	5,154,886	230,885	104.5%
	平均月額	29,433	30,111	△678	97.7%

【苦情受付】

受付件数	内 容	処理結果
1 件	投書箱に、複数の入所者の連名で「外出制限や行事等に対して、豊かに暮らす権利が侵害されている」との意見が寄せられた。	解決済み 所長と入所者との意見交換の場を設けて説明し理解を得た。経過等について苦情解決第三者委員に報告した。

Ⅲ ハートフル五明 障害者支援施設

区分	定員	目標 利用者数	実績
施設入所支援	40 人	21 人	20.0 人月
生活介護	40 人	22 人	20.3 人月

- ・ サービスの安定的な提供・人材育成のため研修に積極的に参加した。
- ・ 入所の一元化に向けてサービス提供体制の検討を続けた。

1 日常生活上の支援

(1) 介護

- ・ 利用者ニーズを把握し、ニーズに応じた、適切な介護サービスを提供した。

- ・ サービスの質を安定・向上させるために介護手順書を作成し、介護技術の標準化を図る努力を行った。
- ・ 適切な介護技術で介護を行うため、外部研修に積極的に参加し、研修で学んだことを支援員間で技術伝達を行った。

(2)入浴

- ・ 利用者ニーズに応じた介助機器（特殊浴槽等）を整備し、安心・安全な入浴の提供を行った。
- ・ 入浴介助は週に2回以上を基本とし、必要に応じて清拭、シャワー浴、着替えを行い、清潔を保持した。

(3)機能維持訓練

- ・ 口腔機能維持のため、歯科検診・通院・口腔嚥下体操の支援を継続した。
- ・ 医療機関の理学療法士と連携し、身体機能維持訓練を行った。

(4)通院付き添い

- ・ 日々のバイタルチェックや顔色など状態の変化に気を付け、看護師と連携して対応した。
- ・ 健康状態についてご家族に定期的に報告し、通院等の協力依頼をできる方にはお願いした。

2 日中活動の支援

- ・ 感染症対策を行い、小人数・短時間で取り組める日中活動を提供した。

3 保健

(1)疾患の早期発見及び現病の悪化防止

- ・ 嘱託医の月1回の診察と年1回の結核検診、2年に1回の心電図検査を行った。
- ・ 必要に応じて血液検査等の各種検査を行った。

(2)口腔ケア

- ・ 協力指定医による歯科健診を年2回行った。
- ・ 歯科医師、歯科衛生士からの助言のもと口腔内の衛生保持に努めた。
- ・ 嚥下機能の低下とそれに伴う誤嚥性肺炎の予防の支援を行った。

(3)状況にあった支援

- ・ 高齢化や障害の重度化に伴う健康状態の変化を把握し、必要な支援をした。
- ・ 体調不良者の回復時の早期離床に向けた助言や支援を行った。
- ・ 足の爪の巻き爪や変形による皮膚トラブルを予防した。
- ・ 支援員、栄養士、看護師が情報を共有した。

(4)感染症対策

- ・ 新型コロナウイルス感染症やその他の感染症の知識を習得・情報収集し、また研修等で対応の確認を行い発生時の対処に備えた。
- ・ 職員はマスクを常時着用した。手洗い・うがいの徹底と、アルコール消毒を有効活用

した。

- ・ ウイルスワクチン接種の有効性を理解してもらい、新型コロナウイルスやインフルエンザ等のワクチン接種を推奨した。

(5) 医療ケア

- ・ ケアの目的と必要性及び外部専門家の助言等を支援員間で共有し、安全確実に実施した。
- ・ 利用者の医療的ケアを充実できるよう看護師の体制を整えた。

4 給食

(1) 楽しく温かい給食

- ・ 嗜好や季節感を取り入れた食事を、適時適温で提供できた。

(2) 身体状況による適切な栄養ケア

- ・ 支援員・看護師・栄養士が情報を共有できた。
- ・ 咀嚼・嚥下機能の低下に伴い、個々の課題解決に向けて安全かつ自力摂取しやすい方法を検討、実施できた。

(3) 満足度の高い食事

- ・ 嗜好調査を兼ねた個別面談が実施できた。
- ・ 利用者の参加できる手作りおやつを企画、実施できた。
- ・ 食事に興味が湧くような献立表、掲示板作りを工夫し、栄養情報を発信した。

(4) 食中毒・感染症対策

- ・ 衛生管理を徹底し、感染症を予防できた。

(5) 非常災害時対策

- ・ 期限到来の備蓄水の入替を行い、また、非常食の取り扱いについては職員間で情報共有できた。

(6) 委託業者との連携

- ・ 定期的なミーティングの機会を設け、食品衛生、個別対応などの確認を行った。

5 行事

- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めて実施の可否を判断し、開催の時期・規模・形態を検討して実施した。
- ・ 春・秋の行楽
- ・ 納涼ウィーク
- ・ コロニーフェスティバル
- ・ 忘年会

6 設備投資

(単位：円)

購入設備	数量	金額	備考
浴室改修工事(特殊浴槽)	一式	74,690,000	施設整備国庫補助金 R5 の繰り越し 51,435,000

移乗サポートロボット H u g l. 1	1 台	899, 000	ロボット等導入支援事業補助金 674, 000
--------------------------	-----	----------	----------------------------

7 利用者実績

【利用者数】

区 分		当期実績	前期実績	比較増減	前期比
施設入所支援	延べ利用者数	7, 203 人	7, 976 人	△773 人	90. 3%
	開所日数	365 日	366 日	△1 日	99. 7%
	平均利用者数	19. 7 人日	21. 7 人日	△3. 1 人	90. 8%
	平均利用率	49. 3%	54. 2%	△8%	—
生活介護	延べ利用者数	5, 322 人	6, 025 人	△703 人	88. 3%
	開所日数	269 日	270 日	△1 日	99. 6%
	平均利用者数	19. 8 人日	22. 3 人日	△2. 5 人	88. 8%
	平均利用率	49. 5%	55. 7%	△6. 2%	—

IV はあてい若槻 多機能型事業所

区分	定 員	計 画	実績
生活介護	16 人	12 人	10. 0 人/月
就労継続支援 B 型	25 人	29 人	27. 8 人/月

- ・ 個別支援計画を基に個々に必要なサービスを提供した。
- ・ 利用者の意思を尊重し、充実した活動が行えるよう支援した。
- ・ 職員研修を積極的に行い、支援技術とサービスの質を向上した。

1 生活介護

- ・ 利用者の体調やペースに合わせて作業を提供し、利用者の作業意欲向上に努めた。
- ・ 創作的活動は、利用者の希望を取り入れて行う。また、誕生会等定期的な行事を行った。
- ・ 月 2 回の音楽療法等、外部講師を招いて実施した。

2 就労継続支援 B 型

- ・ 利用者が日々の仕事にやりがいや達成感を感じられるような作業を提供した。
- ・ 利用者の作業技術の習得及び向上を支援した。
- ・ 取引事業者と連携し早めの情報収集を行い、安定した作業量と工賃を確保するよう努めた。

3 保健

- ・ 利用者の体調の変化に気を付け、早めの対応や支援を行うことで感染症の蔓延予防に努めた。

- ・ 感染症に対する最新の情報を共有し、職員に感染予防等の訓練を行った。

4 レクリエーション・行事

利用者のリフレッシュのため、次のレクリエーション及び行事を行う。開催に当たり新型コロナウイルス等感染症の感染状況を見極めて時期・規模等を検討して実施した。

- ・ お花見レクリエーション
- ・ 夏至祭り
- ・ はあていフェスティバル
- ・ 忘年会
- ・ 成人式
- ・ 土曜日レクリエーション（土曜開所日に実施）

5 設備投資

購入設備	数量	単価	金額	備考
パソコン	4 台	115,500	462,000	2025 年 3 月～60 ケ月 リース

6 利用実績

【利用者数】

区 分		当期実績	前期実績	比較増減	前期比
生活介護	延べ利用者数	2,012 人	2,335 人	△323 人	86.2%
	開所日数	249 日	248 日	1 日	100.4%
	平均利用者数	8.0 人/日	9.4 人/日	△1.4 人/日	85.1%
	平均利用率	50.0%	58.8%	△8.0 ㊦	—
就労継続 支援 B 型	延べ利用者数	5,462 人	5,755 人	△293 人	94.9%
	開所日数	249 日	248 日	1 日	100.4%
	平均利用者数	21.9 人/日	23.2 人/日	△1.3 人/日	94.4%
	平均利用率	87.6%	92.8%	△5.2 ㊦	—

【売上高】

区 分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
生活介護	174,735	200,000	87.4%
		191,791	91.1%
就労継続支援 B 型	4,289,086	5,240,000	81.9%
		4,385,974	97.8%

【工賃】

区 分		当期実績	前期実績	増減額	前期比
生活介護	総額	158,950	174,317	△15,397	91.2%
	平均月額	1,324	1,201	123	110.2%
就労継続支援B型	総額	3,930,340	4,006,421	△76,081	98.1%
	平均月額	12,304	11,995	309	102.5%

V 長野福祉工場 就労継続支援A型事業所

区 分	定 員	計 画	実 績
就労継続支援A型	40 人	41 人	38.8 人/月

1 賃金向上計画(実績)

項 目	年間売上高	年間賃金総額	平均月額賃金
目 標	489,106,000 円	88,762,000 円	184,920 円
実 績	505,603,784 円	78,754,455 円	169,146 円

※法定福利費（社会保険料、労働保険料の法人負担分）を除いた、支給額

※平均月額賃金=賃金総額÷12月÷平均登録者数 38.8 人月

- ・ 賞与の支給率を、前年度の年間 2.0 月（期末 1.0、年末 1.0）から年間 0.6 月（期末 0.5、年末 0.1）に引き下げたため、賃金総額及び平均月額が計画を下回った。
- ・ 今後の賃金増額を目指すため、令和 6 年 12 月に賃金向上計画を新たに策定し、賃金向上達成指導員を配置して経営改善に取り組むことにより、年間売上高は目標を上回ることができた。
- ・ 上期は資金繰りが厳しく、8 月に工賃変動積立金 6,765,430 円を全額取り崩して人件費に充てたが、就労支援事業が黒字となったため、3 月に工賃変動積立金 8,649,000 円積み立てた。

2 印刷事業

項 目	売上高	加工高
目 標	315,440 千円	165,910 千円
実 績	297,264 千円	138,684 千円

※印刷、縫製事業間の内部取引含む。

(1) 営業活動

- ・ 営業課員の業務量は一部改善されたが、根本的に体制として 1 名増員が必須である。
- ・ 前年度開催された「障がい者優先調達に係る情報交換会」以降各地域からの受注を少しずつ伸ばしているが、県、市ともに一般随意契約限度額が引き上げの傾向にあり、受注提案しにくい状況にある。

- ・ 昇華転写製品の受注を増やすための商品開発は、前年度に引き続き縫製部昇華転写部門の人員不足などの理由により商品開発は進められなかった。
- ・ 内部研修は基本的に OJT として取組み、少しずつではあるが知識を身に着け、取引先からの信頼を得ている。
- ・ 協力会社との Win-Win な関係を確立し、受注増加に繋がったものの受け入れ態勢が整わず行き当たりばったりとなってしまった。
- ・ アクアリウム事業を見直し、撤退に向けたプロセスを納入先、仕入れ先、リース会社と協議した。

(2)制作活動

- ・ 第 44 回全国障害者技能競技大会（全国アビリンピック）が愛知県で開催され、制作課から DTP 部門に 1 名が参加し、当事業所から 3 年連続で金賞を受賞した。
- ・ ワークフロー・作業方法を見直し、技術格差はあるものの、作業手順を統一することにより、効率の良い作業ができるようになった。
- ・ ソフトの更新が遅れ、繁忙期に入ってしまったので、ソフトについての研修を行うことはできなかった。
- ・ 点検のチェックリストを見直し、間違いが起きやすいところ、過去にあった事例を伝えることにより、作業者がスキルアップすることができた。
- ・ 検査ソフトについては、校正の出し方等、課題が多いので、継続してデジタル化を検討する。

(3)印刷製造

- ・ オフ輪印刷機の稼働停止に伴い、協力会社で印刷が可能となるよう作業フローを整備し、円滑に移行を進めた。
- ・ 負担が多くなっていた断裁機の作業分割、高齢化、重度化により出来る事が減っていた利用者にも作業出来る三方断裁機が、社会福祉法人清水基金様の助成金により導入が決定した。

(4)生産管理

- ・ 入稿受付表の活用により、作業指示書の修正や納期の調整等を通じて営業課員の業務をフォローした。
- ・ 各課のスケジュール調整や外注加工物の選定などを行い、作業の効率化と残業時間の削減を図った。
- ・ 資材や外注価格が高騰する中、付合せ印刷や資材の一括購入、価格の交渉などを行い、経費削減に努めた。

3 縫製事業

項 目	売上高	加工高
目 標	174,800 千円	67,620 千円
実 績	214,772 千円	92,413 千円

※印刷、縫製事業間の内部取引含む

(1)営業活動

- ・ 資材費や労務費を価格に反映させることができた。

(2) 縫製製造

- ・ 外部技術者によるサイクルミシンの操作指導やトラブル時の対応などの研修を実施した。また、サイクルミシンの操作習得に向けた内部研修も継続して行った。
- ・ GPS ポケット付ゼッケンの仕様変更が令和 7 年 7 月頃に予定されているため、ミシン業者とサイクルミシンの設定や工程に関する打ち合わせを行った。
- ・ GPS ポケット付ゼッケン増加が見込まれることから、体制の整備について検討をした。
- ・ サンプルの更新を都度実施し、マニュアルについては随時対応した。
- ・ 納期は掲示板を活用して全体で見える化を図ったが、作業スケジュールが明確でないため、掲示方法も含め改善を検討した。

4 福祉事業

(1) 支援課職員としての役割と支援技術の向上

- ・ 支援課会議において支援事例の共有や、支援の質を高めるための意見交換等を行い、支援課職員としての役割を再確認するとともに、支援技術の向上を図った。

(2) 支援の専門性の向上

- ・ 内部研修や外部研修、各種セミナー等へ積極的に参加し、見識を広げ、福祉の専門性の向上を図った。また、支援課会議内や復命書を通じて伝達研修を行った。

(3) 利用者の確保、利用率の向上、仕事量の確保

- ・ ハローワークを活用した求人募集や見学の受け入れを行い、目標としていた利用者数の確保及び関係機関との連携を図った。
- ・ 声掛けや面談、業務量の調整、関係機関との連携を通じて、利用者が継続して利用できるよう努めた。
- ・ 各取引先から、制作や仕分けなどの作業を積極的に受注し、閑散期の作業量の確保に努めた。

(4) 健康保持の支援

- ・ 看護師による健康相談、定期健康診断、感染症予防対策を行った。
- ・ 令和 6 年 12 月に職員 22 人が新型コロナウイルスに感染するクラスターが発生したが、感染症 BCP に基づいて対応し、業務への影響を最小限に止めた。

5 設備投資等

(単位：円)

購入設備等	数量	単価	金額	備考
POP 用プリンター	2	240,955	481,910	リコー更新
プロスカット (名刺断裁機)	1	455,400	455,400	きりっこ更新
AdobeCC	4	36,300	145,200	更新
デスクトップ PC (制作) (Win11)	4	292,875	1,171,500	更新
電子カン止ミシン	1	2,750,000	2,750,000	

自動火災報知設備修理	1	2,310,000	2,310,000	8月22日落雷損傷
暖房用ボイラー修理	1	2,058,210	2,058,210	

【売上高】

区 分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
印 刷	297,264 千円	315,440 千円	94.2%
		321,132 千円	92.6%
縫 製	214,772 千円	174,800 千円	122.9%
		164,804 千円	130.3%

※印刷、縫製事業間の内部取引含む。

【加工高】

区 分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
印 刷	138,684 千円	165,910 千円	83.6%
		154,693 千円	89.7%
縫 製	92,413 千円	67,620 千円	136.7%
		58,549 千円	157.8%

【賃金】

区 分	当期実績	前期実績	増減額	前期比
賃金（総額）	78,754,455 円	81,927,204 円	△3,172,749 円	96.1%
賃金（1人当たり 平均月額）	※169,146 円	178,258 円	△9,112 円	94.9%

※78,754,455 円 ÷ 12 月 ÷ 平均登録者数 38.8 人月

※前期（令和5年度）は年間賞与支給率 2.0 月分の 9,024,100 円、当期（令和6年度）は年間賞与支給率 0.6 月分の 2,847,700 円がそれぞれ含まれる。

（参考）賞与を除いた支給額

区 分	当期実績	前期実績	増減額	前期比
賃金（総額）	75,906,755 円	72,903,104 円	3,003,651 円	104.1%
賃金（1人当たり 平均月額）	※163,030 円	158,623 円	4,407 円	102.8%

【利用者数】

区 分	当期実績	前期実績	増減	前期比
延べ利用者数 (A)	8,250 人	8,230 人	20 人	100.2%

開所日数 (B)	239 日	240 日	△1 日	99.6%
1 日の平均利用者数 (A/B=C)	34.5 人日	34.3 人日	0.2 人日	100.6%
平均利用率 (C/40)	86.3%	85.7%	0.6 割	—

VI 地域生活支援センターコロニー 共同生活援助（グループホーム）

区 分	定員	計画	実績
さいなみほ～む	4	0	廃止
うわのほ～む	2	2	2.0 人/月
グループホームせはらだ	4	3	2.4 人/月

- ・ 各グループホームのバックアップは、基本的にサービス管理責任者、管理者で行う。必要に応じて、近隣の事業所（ワークサポート篠ノ井・はあてい若槻）に協力依頼した。
- ・ 個別支援計画により利用者のニーズを把握し、必要なサービスを提供した。
- ・ 利用者が安心して充実した生活が送れるように、世話人会議を開催し情報を共有した。
- ・ 地区の行事に参加しながら、地域生活が送れるよう支援した。
- ・ 建物の老朽化に伴い、利用ニーズがないさいなみほ～むを廃止した。

VII あいくる 相談支援事業所

区 分				当期実績	前期実績	増減	前期比
延べ利用者数	計画相談支援	特定	サービス利用支援	113 人	110 人	3 人	102.7%
			モニタリング	291 人	274 人	17 人	106,2%
		児童	サービス利用支援	7 人	11 人	△4 人	63.6%
			モニタリング	13 人	17 人	△4 人	76.5%
	地域相談支援		一般・地域移行支援		6 人	0 人	6 人
障害支援区分認定調査				0 人	0 人	0 人	0%

- ・ 相談支援専門員のスキルアップのため、長野市障害福祉ネットに参加した。
- ・ 人材育成のため、相談支援事業の体制を考えた取り組みをした。

VIII すまいる 放課後等デイサービス事業所・障害児自立サポート事業所

- ・ サービス開始前及び終了後にミーティングを行い、支援者間で情報の共有や振り返りを行い、個別支援計画に沿った支援を実施した。
- ・ サービス提供中も支援者間の情報共有に努め、支援の連携を図った。
- ・ 保護者面談・保護者会を実施し、ニーズの把握と保護者間の情報交換を実施した。

- ・ 利用者のご理解を得て、感染症対策に取り組み、感染予防と事業の継続に努めた。

【放課後等デイサービス利用状況】

区 分	当期実績	前期実績	増減	前期比
延べ利用者数	2,500 人	2,637 人	△137 人	94.8%
開所日数	249 日	248 日	1 日	100.4%
平均利用者数	10.0 人	10.6 人	△0.6 人日	94.3%
平均利用率	100.4%	106.0%	△5.6 ㊦	—

【障害児自立サポート 利用状況】

区 分	当期実績	前期実績	増減	前期比
延べ利用者数	52 人	655 人	△603 人	7.9%

【設備投資】

(単位：円)

購入設備	数 量	単 価	金 額	備 考
タイムプロ NX (給与計算ソフト)	一式	194,000	194,000	工場除く施設共通 (すまいる負担分)

令和 6 年度 会議・行事及び研修会等経過報告

1 役員会等

(1) 理事会

年月日	議 題 等	場 所
6. 5. 21	第 1 回理事会 議案第 1 号 令和 5 年度資金収支補正予算書（第 8 号） 議案第 2 号 施設職員の処遇改善手当支給基準の一部改正 議案第 3 号 長野福祉工場職員の処遇改善金支給基準の一部改正	篠ノ井施設
6. 6. 14	第 2 回理事会 報告第 1 号 令和 5 年度職務執行状況報告 議案第 4 号 令和 5 年度事業報告 議案第 5 号 令和 5 年度決算に係る計算書類及び財産目録 議案第 6 号 令和 5 年度の社会福祉充実残額 議案第 7 号 令和 6 年度資金収支補正予算書（第 1 号） 議案第 8 号 令和 6 年度定時評議員会の招集 議案第 9 号 評議員候補者の推薦 議案第 10 号 評議員選任・解任委員会の招集	篠ノ井施設
6. 8. 5	第 3 回理事会 報告第 2 号 評議員選任・解任委員会議事録の報告 議案第 11 号 電子門止めミシンの購入契約 議案第 12 号 福祉車両（賃貸借契約）の一般競争入札 議案第 13 号 令和 6 年度資金収支補正予算書（第 2 号）	篠ノ井施設
6. 9. 10	第 4 回理事会 議案第 14 号 社会福祉法人ながのコロニー給与規程の一部改正 議案第 15 号 社会福祉法人ながのコロニー嘱託職員及びパート職員就業規則の一部改正 議案第 16 号 社会福祉法人ながのコロニー役員等報酬規程の一部改正 議案第 17 号 役員の報酬等の総額を改める件 議案第 18 号 金融機関からの借入金について 議案第 19 号 令和 6 年度資金収支補正予算書（第 3 号） 報告第 3 号 福祉車両（賃貸借契約）の一般競争入札（再入札）について	篠ノ井施設
6. 10. 1	第 5 回理事会 議案第 20 号 福祉車両更新事業（賃貸借契約）	篠ノ井施設

6. 11. 12	第 6 回理事会 報告第 4 号 令和 6 年度職務執行状況報告 報告第 5 号 令和 6 年度中間決算報告 議案第 21 号 地域生活支援センターコロニー グループホーム さいなみほ～むの廃止について 議案第 22 号 地域生活支援センターコロニー運営規程の一部 改正 議案第 23 号 ながのコロニー組織運営規程の一部改正 議案第 24 号 油圧裁断機更新及び設置に係る一般競争入札に ついて 報告第 25 号 令和 6 年度資金収支補正予算書（第 4 号） 報告第 26 号 令和 6 年度第 2 回評議員会の招集	篠ノ井施設
6. 12. 13	第 7 回理事会 議案第 27 号 油圧裁断機更新及び設置契約締結について 議案第 28 号 令和 6 年度資金収支補正予算書（第 5 号） 議案第 29 号 育児・介護休業等に関する規則の一部改正 議案第 30 号 社会福祉法人ながのコロニー職員就業規則の一部 改正 議案第 31 号 社会福祉法人ながのコロニー嘱託職員及びパート 職員就業規則の一部改正	篠ノ井施設
7. 3. 10	第 8 回理事会 議案第 32 号 令和 7 年度事業計画書 議案第 33 号 令和 7 年度資金収支予算書 議案第 34 号 令和 6 年度資金収支補正予算書（第 6 号） 議案第 35 号 社会福祉法人ながのコロニー組織運営規程の一部 改正 議案第 36 号 社会福祉法人ながのコロニー業務専決規程の一部 改正 議案第 37 号 社会福祉法人ながのコロニー給与規程の一部改 正 議案第 38 号 指定障害者支援施設ワークサポート篠ノ井運営 規程の一部改正 議案第 39 号 指定障害者支援施設ハートフル五明運営規程の 一部改正 議案第 40 号 はあてい若槻（指定生活介護事業）運営規程の 一部改正 議案第 41 号 はあてい若槻（指定就労継続支援 B 型事業）運 営規程の一部改正 議案第 42 号 指定就労継続支援 A 型事業長野福祉工場運営規	篠ノ井施設

	程の一部改正 議案第 43 号 地域生活支援センターコロニー運営規程の一部改正 議案第 44 号 指定一般相談支援事業あいくる運営規程の一部改正 議案第 45 号 指定特定相談支援事業あいくる運営規程の一部改正 議案第 46 号 指定障害児相談支援事業あいくる運営規程の一部改正 議案第 47 号 障害児自立サポート事業すまいる運営規程の一部改正 議案第 48 号 指定放課後等デイサービス事業すまいる運営規程の一部改正 議案第 49 号 一時借入金限度額の承認について 議案第 50 号 空調冷却塔の修理契約について 議案第 51 号 事業所長等の選任 議案第 52 号 令和 6 年度第 3 回評議員会の招集	
--	--	--

(2) 評議員会

年月日	議 題 等	場 所
6. 6. 26	第 1 回評議員会 報告第 1 号 令和 5 年度事業報告 議案第 1 号 令和 5 年度決算に係る計算書類及び財産目録	篠ノ井施設
6. 11. 20	第 2 回評議員会 報告第 2 号 令和 6 年度中間決算報告 議案第 2 号 社会福祉法人ながのコロニー役員等報酬規程の一部改正 議案第 3 号 役員の報酬等の総額を改める件	篠ノ井施設
7. 3. 24	第 3 回評議員会 報告第 3 号 令和 7 年度事業計画書及び令和 7 年度資金収支予算書の報告 報告第 4 号 事業所長等の選任の報告	ふれあい福祉センター

(3) 評議員選任・解任委員会

年月日	内 容 等	場 所
6. 7. 1	第 1 回評議員選任・解任委員会 議案第 1 号 評議員の選任	篠ノ井施設

(4) 監査会

年月日	内 容 等	場 所
6. 4. 1	前年度期末における現金・手形及び現在高監査	篠ノ井施設 長野福祉工場
6. 5. 27	決算監査	篠ノ井施設
6. 5. 30	決算監査	長野福祉工場
6. 11. 8	中間決算監査	篠ノ井施設 長野福祉工場

2 法人内会議及び行事等

年月日	会議・行事等	場 所
定期開催	経営会議(月 1 回)	篠ノ井施設・長野福祉工場 (交互開催)
	施設運営会議(月 1 回)	篠ノ井施設
	安全衛生委員会(月 1 回)	長野福祉工場
	衛生委員会(月 1 回)	篠ノ井施設 はあてい若槻
	感染対策委員会(3 か月に 1 回)	篠ノ井施設
	職員会議(月 1 回)	篠ノ井施設 はあてい若槻
	支援課会議(月 1 回)	長野福祉工場
	部課長会議(月 1 回)	長野福祉工場
	ハートフル五明浴室改修工事定例会議 (R6 年 5 月まで隔週 1 回開催)	篠ノ井施設
	嘱託医による診察 (月 1 回)	篠ノ井施設 はあてい若槻
	歯科口腔健診 (年 2 回)	ハートフル五明
	土曜レクレーション(月 1 回程度)	はあてい若槻
	音楽療法 (月 2 回)	はあてい若槻
不定期開催	ワークサポート篠ノ井 サンアップルによる出張スポーツ教室 (年 3 回)	篠ノ井施設
6. 4. 20	ながのコロニー後援会 監査会・総会	篠ノ井施設
6. 5. 2	ワークサポート篠ノ井教養事業「ミニクッキング」	ワークサポート篠ノ井

6. 5. 22	春の防災訓練	篠ノ井施設
	はあてい若槻バスドライブ（利用者 30 名） ※22～23 日の 2 日間で 2 班に分けて実施	臥龍公園
6. 5. 23	全国障害者技能競技大会成績優秀者表彰	長野市芸術館
6. 5. 24	ハートフル五明浴室改修工事長野市完了調査	篠ノ井施設
6. 5. 28	ハートフル五明浴室改修工事発注者検査	篠ノ井施設
6. 5. 29	春の防災訓練	若槻施設
6. 5. 31	ハートフル五明浴室改修工事引き渡し	篠ノ井施設
6. 6. 5	虐待防止委員会	篠ノ井施設
6. 6. 19	はあてい若槻夏至祭（利用者 30 名）	はあてい若槻
6. 7. 1	全国安全週間 ～7 日	篠ノ井施設 若槻施設
6. 7. 21	第 50 回長野県障害者技能競技大会（利用者 2 名、職員 1 名）	ポリテクセンター長野
6. 7. 24	篠ノ井施設見学会（ハートフル五明浴室他） 5 名	篠ノ井施設
6. 7. 25	ワークサポート篠ノ井夏の行事「包み焼ハンバーグを食べよう」（利用者 50 名）	篠ノ井施設
6. 7. 31	入所利用者結核健診	篠ノ井施設
6. 8. 1	納涼 ～2 日（利用者 69 名、後援会 2 名）	篠ノ井施設
6. 8. 27	特定給食施設等巡回指導	篠ノ井施設
6. 8. 28	臨時経営会議	篠ノ井施設
6. 9. 5	一般競争入札（福祉車両）	篠ノ井施設
6. 9. 6	塩崎分署による消防設備等立入検査	篠ノ井施設
6. 9. 7	災害時連絡訓練	篠ノ井施設 若槻施設
6. 9. 8	篠ノ井福祉まつり出店	篠ノ井市民センター
6. 9. 29	上野区自主防災訓練	昭和の森公園
6. 9. 30	一般競争入札（福祉車両） ※2 回目	篠ノ井施設
6. 10. 1	全国労働衛生週間 ～7 日	篠ノ井施設 若槻施設
6. 10. 2	コロニーフェス（利用者 73 名）	篠ノ井施設

6. 10. 9	秋の防災訓練	篠ノ井施設
	第 44 回全国障害者技能競技大会結団式（利用者 1 名、職員 1 名）	県庁講堂
6. 10. 16	秋の防災訓練	若槻施設
6. 10. 19	はあていフェスティバル（利用者 22 名）	はあてい若槻
6. 10. 25	衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査不在者投票	ワークサポート篠ノ井 ハートフル五明
6. 10. 26	ゼンコロ版アビリンピック（利用者 1 名、職員 1 名）	オンライン
6. 10. 29	ハートフル五明秋の行楽「宅配弁当」（利用者 19 名）	篠ノ井施設
6. 11. 8	職員定期健康診断	長野福祉工場
	はあてい若槻利用者健康診断（希望者のみ）	長野福祉工場
6. 11. 13	職員定期健康診断	篠ノ井施設
6. 11. 19	インフルエンザワクチン予防接種（入所利用者）	篠ノ井施設
6. 11. 22	第 44 回全国障害者技能競技大会（利用者 1 名、職員 1 名） ～24 日	愛知県国際展示場
6. 11. 27	心電図検査（入所利用者）	篠ノ井施設
6. 11. 28	篠ノ井施設建物劣化度調査	篠ノ井施設
6. 11. 29	さいなみほ～む引き渡し	犀南団地
6. 12. 3	コロナワクチン予防接種（入所利用者のうち 65 歳以上の方および希望者）	篠ノ井施設
6. 12. 11	ハートフル五明忘年会（利用者 19 名）	篠ノ井施設
	一般競争入札（ワークサポート篠ノ井 油圧断裁機）	篠ノ井施設
6. 12. 16	若槻分署による消防設備等立入検査	はあてい若槻 長野福祉工場
6. 12. 27	はあてい若槻忘年会（利用者 33 名）	はあてい若槻
7. 1. 2	ワークサポート篠ノ井正月行事（利用者 14 名）	篠ノ井施設 布施神社
7. 1. 9	利用者成人式（対象者 3 名：はあてい若槻通所利用者）	はあてい若槻
7. 1. 10	利用者成人式（対象者 1 名：ワークサポート篠ノ井通所利用者）	篠ノ井施設
7. 1. 22	ハートフル五明動物ふれあい行事（利用者 15 名）	篠ノ井施設

7.3.4	ワークサポート篠ノ井ひなまつり会（入所利用者 18 名）	篠ノ井施設
7.3.8	ながのコロニー後援会役員会	篠ノ井施設

3 研修会・講習会等

年月日	研修会・講習会・説明会名	場 所
定期 開催	理学療法士によるハートフル五明職員への技術指導（月 1 回）	篠ノ井施設
6.4.14	医療・福祉事業部研修会	オンライン
6.4.15	応急手当講習 ～17 日 ハートフル五明職員 ※3 日に分けて実施	篠ノ井施設
6.4.16	新任相談支援専門員研修「だれでも研修会」	長野市役所
	求人手続き説明会	JA グリーンパレス
6.5.1	2024 年度第 1 回ノーリフティング基礎研修 2 名	オンライン
6.5.15	「労働関係法令の改正」等に関する明会	長野県自治会館
6.5.18	「報酬改定から見える障害児支援の方向性」講演会 2 名	にじいろキッズらいふ
6.5.20	令和 6 年度福祉経営セミナー	JA 長野県ビル
6.5.27	休復職と法「メンタルヘルス不調その他の難治性疾患のり患者の休職・復職」	オンライン
6.5.31	長野県セルフセンター協議会研修会	長野市生涯学習センター
6.6.4	人材育成・研修担当者向け 新人育成担当者研修（延べ 2 日間）	松本市総合社会福祉センター
6.6.11	人材育成・研修担当差向け OJT リーダー養成研修	ホクト文化ホール
6.6.12	長野経済研究所主催 基礎から学ぶ 人事制度の設計と運用	松本商工会館
6.6.13	産業保健と法「パーソナリティの問題がうかがわれる労働者への対応法」	オンライン
6.6.14	第 1 回障害者虐待防止・権利擁護研修会	長野市役所
6.6.18	産業保険研修会「感情労働といわれる人たちの感情のケア」	長野市鈴正ビル
	算定基礎届事務講習会 2 名	ホクト文化ホール
6.6.20	安全運転管理者等講習会	長野市東部文化ホール

6. 6. 21	長野県消防学校「自衛消防隊講習」	長野県消防学校
6. 6. 25	管理監督者向けメンタルヘルス研修会（延べ2日間） 20名	篠ノ井施設
6. 6. 27	個別避難計画作成説明会	篠ノ井交流センター
6. 7. 2	障害者虐待防止・権利擁護研修会 若槻施設職員 ※2 回に分けて実施	はあてい若槻 長野福祉工場
6. 7. 4	長野圏域子育て福祉勉強会 ゆったリズム勉強会	森と木
6. 7. 5	長野県セルフセンター協議会北信ブロック研修会 「令和6年度報酬改定のポイント」「県障がい者プラ ン・工賃向上計画」	長野上水内教育会館
	「インクルーシブ教育を考える」福岡寿先生講演会 2名	にじいろキッズらいふ
6. 7. 10	長野圏域子育て福祉勉強会 ゆったリズム勉強会	にじいろキッズらいふ
6. 7. 12	北信地区人権教育研修会	千曲市戸倉創造館
	キャリアパス制度構築基礎研修（延べ2日間） 3名	ホクト文化ホール
6. 7. 16	安全管理者選任時研修 ～17日	長野地域職業訓練セ ンター
	JAGAT スキルアップ講座「色の基礎と運用・管理」	オンライン
6. 7. 24	JAGAT スキルアップ講座「画像再現のプロを目指せ！」	オンライン
6. 7. 26	企業人権セミナー	オンライン
6. 8. 6	長野経済研究所主催 中堅社員研修	長野ターミナル会館
	虐待防止研修会（動画視聴） 篠ノ井施設職員 40名 ※ 2日に分けて実施	オンライン
6. 8. 7	社会福祉法人 主任/係長講座	オンライン
	心の健康づくりフォーラム 「ストレスに負けない！心の弾力性を高めるレジリエン ス講座」	長野合同庁舎
6. 8. 9	自殺対策支援者研修会	長野市役所
6. 8. 20	強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修） 2名 ～21 日（延べ2日間）	オンライン
6. 8. 21	特定給食施設等従事者研修会	オンライン
	安全運転管理者講習会	若里市民文化ホール

6.9.1	JAGAT 通信教育「よくわかるレイアウトデザイン基本」 コース	通信教育
6.9.5	ハラスメント研修会 若槻施設職員 ※2 回に分けて実施	はあてい若槻 長野福祉工場
6.9.12	ゼンコロ リーダー層職員研修 2 名 ～13 日（延べ 2 日間）	東京都中野区中部す こやか福祉センター
6.9.13	令和 6 年度相談支援専門員・サービス管理責任者・児童 発達支援管理責任者専門コース別研修（意思決定支援） 2 名	長野市リサイクルプ ラザ
	人権講座「企業と部落差別」	長野市役所
6.9.18	長野県経営協セミナー（前期） 2 名	ホテルモンターニュ 松本
6.9.25	感染症対策研修（動画視聴） 篠ノ井施設職員 ※5 回 に分けて実施	オンライン
6.9.26	感染症対策研修（動画視聴） 若槻施設職員 ※2 回に 分けて実施	オンライン
6.9.27	精神・発達障害者しごとサポーター養成講座	長野市生涯学習セン ター
	事業主・公正採用選考人権啓発推進員研修会	ホクト文化ホール
6.10.2	福祉職員生涯研修 新任職員課程（延べ 3 日間） 4 名	長野県自治会館
	苦情対応システム研修会	塩尻市文化会館
	メンタルヘルス研修会 若槻施設職員 ※2 回に分けて 実施	はあてい若槻 長野福祉工場
6.10.3	社会保険事務講習会 2 名	若里市民文化ホール
	長野県セルフセンター協議会 北信ブロック事業所訪問 研修 ～24 日（延べ 3 日間）	長野市 他
6.10.10	管内保健医療福祉関係者等研修会（感染症対策） 3 名	長野市保健所
6.10.11	福祉人材確保・定着支援セミナー	キッセイ文化ホール
6.10.16	ハラスメント研修会 篠ノ井施設職員 27 名 ※2 回に 分けて実施	篠ノ井施設
6.10.16	強度行動障がい支援者養成研修（実践研修） ～17 日 （延べ 2 日間）	オンライン
6.10.22	長野経済研究所主催 チームリーダー研修	八十二別館
6.10.24	長野県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更 新研修 ～25 日 2 名	ホクト文化ホール

6. 10. 24	長野県セルフセンター協議会 北信ブロック事業所訪問研修	いなりやま共同作業所
6. 10. 28	キャリアパス制度運用研修 人事評価編	JA 長野県総合研究所
6. 10. 29	長野県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修 ～30 日	浅間温泉文化センター
6. 10. 31	ICT 研修「ICT・介護ロボットの活用」	JA 長野県ビル
6. 11. 8	栄養士・調理職員研修会	いつわ苑
6. 11. 12	障害者職業生活相談員資格認定講習 ～13 日	ホテル信濃路
	長野経済研究所主催 実務セミナー「仕事の段取り・タイムマネジメントセミナー」	八十二別館
	長野圏域子育て福祉勉強会 ゆったリズム 「ゆっくり子育てペアレントサポート」	森と木
6. 11. 13	ノーリフティング一般研修 2 名 ～14 日	(社福) サン・ビジョングレイスフル塩尻
	直接処遇職員研修会	佐久プラザ 21
6. 11. 18	長野経済研究所主催 実務セミナー「労務コンプライアンスのチェックポイントと対策」	八十二別館
6. 11. 20	福祉職員生涯研修 新任管理者課程	浅間温泉文化センター
	工賃向上計画セミナーⅡ	オンライン
	ゼンコロ リーダー層職員研修フォローアップミーティング	オンライン
6. 11. 22	長野県身体障害者施設協議会 事務職員研修会	高森荘
6. 11. 23	社会福祉施設長資格認定講習課程 ～27 日	ロフォス湘南
6. 11. 25	キャリアパス制度運用研修 職員研修編	松本市総合社会福祉センター
6. 11. 26	年金委員・健康保険委員合同研修会	東部文化ホール
6. 11. 27	障害福祉サービス事業所等の管理者向け障がい者虐待防止・権利擁護研修 2 名	長野県庁講堂
6. 11. 28	JAGAT スキルアップ講座「DTP に必要な文字組版の基礎」	オンライン
6. 12. 3	長野経済研究所主催 中堅社員研修	八十二別館
6. 12. 12	災害担当企画委員会研修会「ブロック内における応援・受援体制の強化」	オンライン

6. 12. 26	長野県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者実践研修（延べ4日間）	キッセイ文化ホール
7. 1. 7	2024 年度アレルギー相談員養成研修会 ※食物アレルギーのみ	オンライン
7. 1. 14	（一社）福祉経営研究機構主催オンラインセミナー 「ICT 活用は社会福祉法人の本部事務局に何をもたらすのか」	オンライン
7. 1. 15	長野産業保健総合支援センター主催 「心理的安全性」を育むためのコミュニケーション	鈴正ビル
	第3回障害者虐待防止・権利擁護研修会	長野市役所
	長野県経営協セミナー（後期）	ホテル信濃路
7. 1. 16	福祉職員生涯研修 チームリーダー課程 2 名 ～17 日	ホクト文化ホール
7. 1. 17	長野県社会福祉施設広報研修「とりあえず広報から前向き型広報へ」	キッセイ文化ホール
7. 1. 18	障害児通所支援施設の役割	長野保健医療大学
7. 1. 23	長野県セルフセンター協議会北信ブロック研修会「特殊詐欺を防ぐ」 2 名	長野上水内教育会館
7. 1. 24	障害福祉分野の ICT 導入モデル事業実施研修会 3 名	オンライン
	雇用保険適用照合省略事業所事務担当者研修会	篠ノ井交流センター
7. 1. 28	改正育児・介護休業法等説明会 3 名	ホクト文化ホール
7. 1. 31	関東社会就労センター協議会第1回研修会「新卒職員採用のために、わたしたちが取り組むべきこと」	オンライン
7. 2. 6	福祉職員生涯研修 中堅職員課程 4 名 ～7 日	ホクト文化ホール
7. 2. 12	長野県社会福祉法人経営青年会セミナー「SNS 活用セミナー」	JA 長野県ビル
	企業人権同和研修会	オンライン
7. 2. 14	障害者雇用納付金制度事務説明会	ホテル信濃路
7. 2. 20	雇用保険適用事務手続き講習会	ホクト文化ホール
7. 2. 24	生涯教育研修会「日本人の食事摂取基準（2025 年版）」	JA 長野県ビル
7. 3. 7	清水基金国内研修プログラム ～8 日	AP 市ヶ谷
7. 3. 12	介護現場における生産性向上推進フォーラム	オンライン
7. 3. 26	テレワークセミナー「障がい者テレワーカーの雇用実態と求められるスキル」	オンライン

4 福祉現場実習・研修受入状況

年月日	実習・研修名	場 所
5～7 月	稲荷山養護学校更級分教室校外学習（延べ3日間） 5/10、5/24、7/5	篠ノ井施設
6.6.3	実習1名（長野盲学校3年生）～4日（延べ2日間）	ワークサポート篠ノ井
6.6.4	現場実習1名（長野養護学校高等部2年生）～7日（延べ4日間）	はあてい若槻
	現場実習1名（長野養護学校高等部3年生）～12日（延べ7日間）	はあてい若槻
6.6.5	産業現場等における実習1名（稲荷山養護学校高等部2年生）～7日（延べ3日間）	ワークサポート篠ノ井
6.6.10	産業現場等における実習1名（稲荷山養護学校高等部3年生）～14日（延べ5日間）	ワークサポート篠ノ井
	現場実習1名（長野養護学校高等部2年生）～14日（延べ5日間）	はあてい若槻
6.6.18	現場実習1名（長野養護学校高等部3年生）～21日（延べ3日間）	はあてい若槻
6.6.19	産業現場等における実習1名（稲荷山養護学校高等部3年生）～20日（延べ2日間）	ワークサポート篠ノ井
6.6.24	産業現場等における実習1名（稲荷山養護学校高等部3年生）～25日（延べ2日間）	ワークサポート篠ノ井
6.6.27	産業現場等における実習1名（稲荷山養護学校高等部3年生）～28日（延べ2日間）	ワークサポート篠ノ井
6.8.5	体験実習（はあてい若槻利用希望者）～9日（延べ5日間）	はあてい若槻
6.9.2	現場実習1名（長野ろう学校高等部2年生）～11日（延べ8日間）	長野福祉工場
6.9.13	小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る介護等体験実習1名（清泉女学院大学1年生）～20日（延べ5日間）	ワークサポート篠ノ井
6.10.10	職場体験学習1名（北部中学校2年生）～11日（延べ2日間）	はあてい若槻
6.10.29	現場実習1名（若槻養護学校高等部1年生）～31日（延べ2日間）	長野福祉工場
	現場実習1名（若槻養護学校高等部1年生）～31日（延べ3日間）	長野福祉工場
6.11.1	現場実習1名（長野養護学校高等部2年生）～6日（延べ3日間）	ワークサポート篠ノ井

6. 11. 7	現場実習 1 名（長野養護学校高等部 2 年生）～8 日（延べ 2 日間）	ワークサポート篠ノ井
6. 11. 18	現場実習 1 名（長野養護学校高等部 2 年生）～22 日（延べ 5 日間）	はあてい若槻
6. 12. 9	社会福祉士ソーシャルワーク実習 I（日本福祉大学）～12/13（延べ 5 日間）	篠ノ井施設
7. 1. 7	体験実習（ワークサポート篠ノ井利用希望者）	ワークサポート篠ノ井
7. 2. 17	産業現場等における実習 1 名（稲荷山養護学校高等部 3 年生）～18 日（延べ 2 日間）	ワークサポート篠ノ井
7. 3. 25	体験実習（ワークサポート篠ノ井利用希望者）～27 日（延べ 3 日間）	ワークサポート篠ノ井

5 視察・見学受入状況

年月日	団 体 名 等	人数	場 所
6. 6. 13	長野養護学校高等部 1 年生 生徒、先生	36	はあてい若槻
6. 6. 21	若槻養護学校高等部 1 年生 生徒、先生	6	はあてい若槻 長野福祉工場
6. 7. 4	ゼンコロ	16	長野福祉工場
6. 7. 10	日本財団	3	長野福祉工場
6. 7. 26	稲荷山養護学校 教職員	13	ワークサポート篠ノ井
6. 8. 29	法政大学現代福祉学部 2、3 年生 生徒、先生	5	ワークサポート篠ノ井 はあてい若槻 長野福祉工場
6. 9. 6	稲荷山養護学校 PTA	28	ワークサポート篠ノ井
6. 9. 17	若槻養護学校 先生	3	はあてい若槻
6. 9. 24	清水基金	2	長野福祉工場
6. 10. 24	酒井医療	10	ハートフル五明
6. 10. 24	新任評議員	1	篠ノ井施設 若槻施設
6. 11. 21	長野市第一地区民生児童委員	19	篠ノ井施設
6. 11. 22	長野市赤十字奉仕団篠ノ井分団	16	篠ノ井施設